

表19

			東大法学部本	三手文庫本	南部家本
1 国	総記	1	×	先年、出雲国吏見出雲国風土記抄ヲ見ル、与今合テ国郡所々分明ナリ	先年、出雲国吏見出雲国風土記抄ヲ見ル、与今合テ国郡所々分明ナリ
2 意宇	総記	46	× (以下、和名鈔に関する頭注なし)	和名鈔、此外有能義郡口縫、意宇郡來待筑陽而為郷	和名鈔、此外有能義郡口縫、意宇郡來待筑陽而為郷
3 意宇	郡名	53	聞々耶々「モヤくニ」トヨムヘシ、古本古事記旧事紀等、此例多矣、毛々曾々呂々是モソロクトヨムヘシ	聞々耶々モヤくニトヨムヘシ、古本古事記旧事紀等、此例多矣、毛々曾々呂々是モソロクトヨムヘシ	聞々耶々モヤくニトヨムヘシ、古本古事記旧事紀等、此例多矣、毛々曾々呂々是モソロクトヨムヘシ
4 意宇	郡名	79	×	一以「イチイ」、櫟イチヒ、仮字達余木乎	×
5 意宇	母里郷	80	×	神龜三年詔、紀中无、見和銅六年紀、此間三十三年	神龜三年詔、紀中无、見和銅六年紀、此間三十三年
6 意宇	舍人郷	109	(傍注) 瑞籬(崇神)／金刺宮(欽明)	磯城嶋金刺宮(欽明)、磯城嶋瑞籬宮(崇神)	磯城嶋金刺宮(欽明)、磯城嶋瑞籬(崇神)
7 意宇	拝志郷	118	顯宗紀、室壽探拳棟梁者此家長御心之林也	顯宗紀、室壽探拳棟梁者此家長御心之林也	×
8 意宇	拝志郷	118	×	御心之波夜志(万葉集)	御心之波夜志(万葉集)
9 意宇	出雲神戸	133	(傍注) 〈墨〉愛子「マナゴ」	愛子「マナゴ」、神代紀	愛子(神代巻)、季云、古事記
10 意宇	忌部神戸	140	式作神寿詞、トモニカンノヨゴトトヨムヘキ証ナリ	神吉詞、式作神寿詞トモニ、《カンノヨゴトト》誦ヘキ証也、《カンホギコトト》誦ムハ非凡ナリ	国造神(ノ)吉詞「ヨコト」
11 意宇	神社	154	× (以下、神社条に関する頭注なし)	仁寿元年九月庚午朔乙酉、特擢出雲国熊野作築両大神並加從三位、貞觀元年正廿七正三位、同五月廿八日授從二位(元正三位歎七等)	仁寿元年九月庚午朔乙酉、特擢出雲国熊野作築両大神並加從三位、貞觀元年正廿七正三位、同五月廿八日授從二位(元正三位歎七等)
12 意宇	伯太川	186	×	伊久比、今誤宇久比者乎 種季	伊、宇久比
13 意宇	通道	204	伊呂波字類抄、刻(セキ)、六帖(セキ)、八雲タツイツモノノクニノテマノセキイカナルテマ二人サハララム、堀河百首師頬、サリトモト思ヒシカトモ八雲タツテマノセキニモ秋ハトマラス	刻(伊呂波字類抄/セキ)六帖、セキ、八雲タツイツモノノクニノテマノセキイカナルテマ二人サハララム、同マテシハシ、人シリミムヤ、截セコヲトメカ子テソ、テマトナツケシ、堀河百首師頬、サリトモト思ヒシカトモ八雲タツテマノ開ニモ秋ハトマラス	刻(伊呂波類抄/セキ)六帖、セキ、八雲タツイツモノタニ「谷」ノテマノセキイカナルテマ二人サハララム、同マテシハシ、人シリミムヤ、我セコヲトメカ子テソ、テマトナツケシ、堀河百首師頬、サリトモト思ヒシカトモ八雲タツテマノ開ニモ秋ハトマラス
14 島根	手染郷	233	(本文仮名) 子モコロ	丁寧「子モコロ 万葉」 *本文仮名なし	丁寧「子モコワ」(万葉) *本文仮名なし
15 島根	美保郷	233	× *本文仮名「娶(マキテ)」	娶「マキテ」マク(ト)口ス古語、マイ欲、マ井欲、未攷、種季	娶「マキテ」
16 島根	加賀郷	242	×	神代紀下、星神香香背男、篝火「カリヒ」、赫「カヤク」、カハユキ、加賀國	神代巻下、星香々背男、篝火「カリヒ」、赫「カヤク」、カハユキ、加賀國
17 島根	邑水冷水	280	×	寒水「サムキミモイ、日本紀成務記乎」	寒水「サムキミモイ」 日本紀成務紀乎
18 島根	和多々島	298	薺頭高、異名牡高、和名波々計久佐	薺頭高、牡高ノ異名、和名波々計久佐 【蠍鰐島条】	齋頭高者、正月元日生長六寸(ト)下(二)アリ、多識(二)牡高異名、齋頭高、和名波々計久佐、季云【蠍鰐島条】
19 島根	付島	330	×	薺頭高、師説和名鈔ニ薺蒿トカリテ於波木トイヘル草アリ、万ニ野邊ノウハキヲツミテ煮ラシモトヨメル是也、薺頭蒿モ薺蒿歟、オホツカナシ、ウハキハ今俗ヨメカハキトイヘル物歟	薺頭高、師説和名抄ニ薺蒿トカリテ於波木トイヘル草アリ、万ニ野邊ノウハキヲツミテ煮ラシモトヨメル是也、薺頭蒿モ薺蒿歟、オホツカナシ、ウハキハ今俗ヨメカハキトイヘル物歟
20 檻縫	沼田郷	461	(墨) 見牛云、今モ味ナキモノヲ喰ニタクト	尔多ハ今喰物無味喰フニタク喰ト云、又味アリテモ和カニテ無味ヲモニタクトスルト云	×
21 卷末	軍防	991	團(聚也、令義解)、烽(和名度布比、唐式云置烽之处置火基、基上挿橛保久之)、式(未詳、官舍ノ名力)	圍、応改團(下皆倣之)、軍防令云、凡軍團大毅領一千人、又云、兵士簡点之次、皆令比近割、義解云、謂團者聚也、割者分也 烽、軍防令云、凡置烽皆相去四十里、若有山岡隔絕、須遂使安置者、但使得相照見不必要限四十里、和名鈔說文云、烽燧(峯遂二音/度布比)邊有警則舉之、唐式云、諸置烽之処置火臺、臺上挿橛(音厥俗云保久之)、式	圍、応改團、下皆倣之、軍防令云、凡軍團大毅領一千人、又云、兵士簡点之次、皆令比近割、義解云、謂團者聚也、割者分也 烽、軍防令云、凡置烽皆相去四十里、若有山岡隔絕、須遂使安置者、但使得相照見不必要限四十里、和名鈔說文云、烽燧(峯遂二音度布比)邊有警則舉之、唐式云、諸置烽之処置火臺、臺上挿橛(音厥俗云保久之)、式